



避難の心得

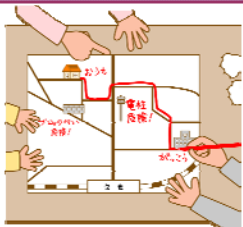
6



避難時の注意事項

災害時の避難は、普段通っている道でも、足元が見えないことがあるので慎重に歩きましょう。また、頭上からの落下物や飛来物にも十分注意しましょう。

いざという時あわてないためにも、どこへの道を通って避難するのかを、日ごろから家族や隣近所で話し合っておきましょう。



避難場所や避難路の確認をしましょう。複数の避難路を検討することをお勧めします。



非常持出品は最小限にしましょう。



早めの避難を心がけましょう。



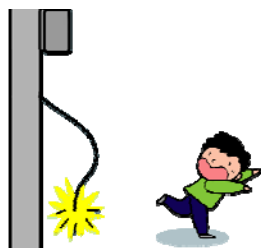
気象・地震・津波などの情報に注意しましょう。



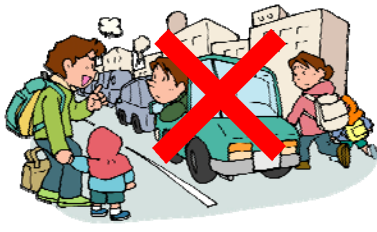
火の始末、戸締まりを忘れずに。



家に避難先、安否情報などのメモを残しましょう。



たれ下がった電線にさわらないようにしましょう。



車での避難は避けて徒歩で避難しましょう。



お年寄りやこどもが安全に避難できるように協力しましょう。



避難所では助け合って！！

避難所では助け合いの心を持ち、ルールを守ってください。



ゆずりあいの心をもって生活しましょう。



役割分担をして、食事準備や清掃をしましょう。



名簿を作っておくと、確認が楽になります。



避難所の運営も積極的に協力してください。